



2019年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月4日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL https://www.kawachem.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2019年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第1四半期の連結業績(2018年12月1日～2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第1四半期	1,778	5.0	29	56.8	33	65.1	22	51.5
2018年11月期第1四半期	1,694	1.2	18	△78.1	20	△75.9	14	△75.6

(注) 包括利益 2019年11月期第1四半期 19百万円(44.5%) 2018年11月期第1四半期 13百万円(△80.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第1四半期	18.19	—
2018年11月期第1四半期	12.01	—

※2018年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第1四半期	7,285	1,830	25.1
2018年11月期	6,780	1,847	27.2

(参考) 自己資本 2019年11月期第1四半期 1,830百万円 2018年11月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年11月期	—	—	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	2.2	70	△10.0	70	△10.6	50	△12.8	41.06
通期	7,600	△0.1	150	△38.3	150	△37.5	100	△40.5	82.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年11月期 1 Q	1,220,000株	2018年11月期	1,220,000株
2019年11月期 1 Q	2,181株	2018年11月期	2,181株
2019年11月期 1 Q	1,217,819株	2018年11月期 1 Q	1,217,862株

※2018年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年11月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済は堅調を維持するのに対し、欧州経済は低調が続く、中国を始めとする新興国経済も減速感が強まっております。今後は米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題等世界経済の不透明感の高まりが懸念されます。

一方、国内においては個人消費が底堅く推移し、設備投資が回復基調を維持するなど緩やかな回復基調が継続しました。

当社の関連する国内の自動車業界においては、自動車生産台数やゴム工業用品生産は前年同期並みで推移し、タイヤ並びに合成ゴムの生産は前年同期をやや上回りとなりました。

このような環境の中、既存顧客への需要対応、新製品の紹介、内外の新規開拓に注力した結果、ゴム薬品においてはタイヤ向け、合成ゴム向けの販売が伸長し、売上が前年同期を上回りました。樹脂薬品並びに中間体は、顧客の需要変化への生産対応や、積極的な販売活動を行った結果、売上が前年同期を上回りました。その他薬品は主要品目での受注時期影響により全体では売上が前年同期を下回りました。

当期に入り原油ナフサ価格は下落傾向となりましたが、主要原料価格は引き続き高値が継続したうえ、生産に必要な関連副資材価格や販売諸経費が上昇しました。この影響を最小限とするため、生産において合理化検討を行うとともに、生産数量や時期対応並びに人員配置の効率化に対し全社を挙げて取り組みました。また、当期竣工の新設工場稼働立ち上げに対し全力で取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億78百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は29百万円（前年同期比56.8%増）、経常利益は33百万円（前年同期比65.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同期比51.5%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

① 化学工業薬品事業

売上高は17億69百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同期比97.3%増）となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高は9百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、工業用品向けは、加硫促進剤や加硫剤について売上を伸ばしましたが、老化防止剤の一部商品において顧客の需要減により前年同期を下回った結果、工業用品向け売上は前年同期をやや下回りました。タイヤ向け薬品ならび合成ゴム用薬品は国内需要が伸びた結果、それぞれ売上が前年同期を上回りました。

海外向けは、中国で景気の減速がみられたものの、東南アジアの持ち直し傾向が継続する中、顧客の需要変動や要望に対し積極的対応を行った結果、売上は前年同期並みとなりました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は、11億10百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは、アクリル酸・アクリル酸エステルが生産が堅調で推移しました。当社の主要製品においては増減がありましたが、全体では前年並みの売上となりました。海外向けは、既存顧客に対する拡販活動を積極的に行った結果、売上が前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は2億10百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

<中間体>

中間体部門は、界面活性剤中間体は、主要品目で販売増となり売上が前年同期を上回りました。染顔料中間体は、新規販売先の獲得により売上が前年同期を上回りました。農薬中間体は、主要品目において受注が下半期となり売上減となった結果、全体として売上が前年同期を下回りました。医薬中間体・機能性化学品は、海外向けは主要品目の受注が第2四半期以降となりましたが、国内で当四半期に受注を獲得した品目があり、売上を伸ばしました。

この結果、中間体部門合計の売上は1億85百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、年末年始の需要減により売上が前年同期を下回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、全体では前年並みの売上となりました。新規用途向けは、新規商品の売上が増加したものの、一部品目の受注が第2四半期以降となった結果、全体では前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は2億62百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては72億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が1億71百万円、有形固定資産が3億51百万円増加したことによります。

負債につきましては54億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億22百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金3億30百万円、流動負債その他の設備支払手形が2億53百万円増加したことによります。

純資産につきましては18億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が14百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年1月15日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,771	718,437
受取手形及び売掛金	2,447,624	2,354,884
商品及び製品	802,319	930,500
仕掛品	304,554	314,861
原材料及び貯蔵品	290,395	322,953
その他	28,672	56,329
貸倒引当金	△4,160	△4,003
流動資産合計	4,544,177	4,693,965
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	707,880	1,206,104
その他(純額)	1,283,947	1,137,702
有形固定資産合計	1,991,828	2,343,807
無形固定資産		
その他	16,111	24,517
無形固定資産合計	16,111	24,517
投資その他の資産		
その他	242,719	225,699
貸倒引当金	△14,074	△2,174
投資その他の資産合計	228,644	223,525
固定資産合計	2,236,584	2,591,850
資産合計	6,780,762	7,285,816
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,193,643	1,271,870
短期借入金	1,850,000	2,180,000
1年内返済予定の長期借入金	579,488	577,478
未払金	247,861	234,843
未払法人税等	39,889	11,589
未払消費税等	917	—
賞与引当金	—	39,672
役員賞与引当金	15,000	3,000
その他	350,017	482,398
流動負債合計	4,276,816	4,800,851
固定負債		
長期借入金	82,886	63,584
役員退職慰労引当金	86,792	88,967
退職給付に係る負債	335,730	354,815
その他	151,224	147,468
固定負債合計	656,633	654,835
負債合計	4,933,450	5,455,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,150,730	1,136,352
自己株式	△7,714	△7,714
株主資本合計	1,811,454	1,797,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,975	24,189
為替換算調整勘定	7,882	8,862
その他の包括利益累計額合計	35,857	33,052
純資産合計	1,847,312	1,830,129
負債純資産合計	6,780,762	7,285,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)
売上高	1,694,263	1,778,608
売上原価	1,424,847	1,489,739
売上総利益	269,416	288,869
販売費及び一般管理費	250,710	259,533
営業利益	18,705	29,335
営業外収益		
受取利息	87	140
受取配当金	876	1,129
貸倒引当金戻入額	—	2,286
受取保険金	—	1,937
受取手数料	2,419	—
その他	2,630	2,156
営業外収益合計	6,014	7,649
営業外費用		
支払利息	3,196	3,301
貸倒引当金繰入額	622	—
為替差損	556	—
その他	115	278
営業外費用合計	4,490	3,580
経常利益	20,228	33,404
税金等調整前四半期純利益	20,228	33,404
法人税、住民税及び事業税	1,741	11,368
法人税等調整額	3,865	△120
法人税等合計	5,607	11,247
四半期純利益	14,621	22,156
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,621	22,156

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)
四半期純利益	14,621	22,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,240	△3,785
為替換算調整勘定	13	979
その他の包括利益合計	△1,226	△2,805
四半期包括利益	13,394	19,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,394	19,351
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,684,653	9,610	1,694,263	—	1,694,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,684,653	9,610	1,694,263	—	1,694,263
セグメント利益	11,038	7,666	18,705	—	18,705

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,769,147	9,461	1,778,608	—	1,778,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,769,147	9,461	1,778,608	—	1,778,608
セグメント利益	21,777	7,558	29,335	—	29,335

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。